

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 特 許 公 報(B2)

(11) 特許番号

特許第6206346号  
(P6206346)

(45) 発行日 平成29年10月4日(2017. 10. 4)

(24) 登録日 平成29年9月15日(2017. 9. 15)

(51) Int.Cl.

F I

A 4 5 D 29/00 (2006.01)

A 4 5 D 29/00

請求項の数 7 (全 19 頁)

(21) 出願番号 特願2014-133917 (P2014-133917)  
 (22) 出願日 平成26年6月30日(2014. 6. 30)  
 (65) 公開番号 特開2016-10570 (P2016-10570A)  
 (43) 公開日 平成28年1月21日(2016. 1. 21)  
 審査請求日 平成28年4月7日(2016. 4. 7)

(73) 特許権者 000001443  
 カシオ計算機株式会社  
 東京都渋谷区本町 1 丁目 6 番 2 号  
 (74) 代理人 110001254  
 特許業務法人光陽国際特許事務所  
 (72) 発明者 山崎 修一  
 東京都羽村市栄町 3 丁目 2 番 1 号 カシオ  
 計算機株式会社 羽村技術センター内

審査官 大瀬 円

(56) 参考文献 特開2014-45927 (JP, A)

特開2012-232414 (JP, A)  
)

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 描画装置及び描画装置の描画制御方法

(57) 【特許請求の範囲】

【請求項 1】

デザイン画像を描画対象の幅方向に沿って湾曲した描画領域にフィッティングして、前記デザイン画像の描画用のデータを生成する描画データ生成部と、

前記描画用のデータに基づいて、前記描画領域に描画を施す描画部と、  
 を備え、

前記デザイン画像は少なくとも1つのデザイン要素を有し、

前記描画データ生成部は、前記フィッティングにより、前記描画領域の前記幅方向の両端から前記描画領域の内側に向かって前記幅方向に沿って予め設定された長さを有する領域に設定される、前記描画領域の一部である二つの縁部領域の少なくとも一方に、前記デザイン要素の少なくとも一部が配置される場合に、前記デザイン要素における前記二つの縁部領域の少なくとも一方に配置される部分を除去して、前記描画用のデータを生成することを特徴とする描画装置。

【請求項 2】

請求項 1 記載の描画装置において、

前記デザイン画像は、前記デザイン要素の背景となっている背景デザインを有し、

前記描画データ生成部は、前記背景デザインを前記描画領域の全体にフィッティングして、前記描画用のデータを生成することを特徴とする描画装置。

【請求項 3】

請求項 1 記載の描画装置において、

10

20

前記描画データ生成部は、

前記デザイン画像における前記デザイン要素のデータに基づいて、前記デザイン要素の背景となる背景デザインを作成し、

前記背景デザインを前記描画領域の全体にフィッティングして、前記描画用のデータを生成することを特徴とする描画装置。

【請求項 4】

請求項 1～3 のいずれか一項に記載の描画装置において、

前記描画領域を撮影して取得された画像から、前記描画領域の幅方向の湾曲の程度を検出する情報検出部と、

前記情報検出部により検出された前記描画領域の幅方向の湾曲の程度に基づいて、前記縁部領域の、該描画領域の前記幅方向の両端からの前記幅方向に沿った長さを設定する領域設定部と、

を備えることを特徴とする描画装置。

【請求項 5】

請求項 1～4 のいずれか一項に記載の描画装置において、

前記描画部は、前記描画対象に接触して前記描画領域に前記描画を施す描画用具を有することを特徴とする描画装置。

【請求項 6】

請求項 1～5 のいずれか一項に記載の描画装置において、

前記描画部は、インクジェット方式により前記描画領域に前記描画を施す印刷ヘッドを有することを特徴とする描画装置。

【請求項 7】

描画装置の描画制御方法であって、

前記描画装置は、描画を施す描画部と、制御装置と、を備え、

前記描画制御方法は、

前記制御装置により、デザイン画像を描画対象の幅方向に沿って湾曲した描画領域にフィッティングして、前記デザイン画像の描画用のデータを生成する描画データ生成ステップと、

前記制御装置により、生成された前記描画用のデータに基づいて、前記描画領域に描画を施すように前記描画部を制御する描画ステップと、

を含み、

前記デザイン画像は少なくとも 1 つのデザイン要素を有し、

前記描画データ生成ステップは、前記フィッティングにより、前記描画領域の前記幅方向の両端から前記描画領域の内側に向かって前記幅方向に沿って予め設定された長さを有する領域に設定される、前記描画領域の一部である二つの縁部領域の少なくとも一方に、前記デザイン要素の少なくとも一部が配置される場合に、前記デザイン要素における前記二つの縁部領域の少なくとも一方に配置される部分を除去して、描画用のデータを生成することを特徴とする描画装置の描画制御方法。

【発明の詳細な説明】

【技術分野】

【0001】

本発明は、描画装置及び描画装置の描画制御方法に関する。

【背景技術】

【0002】

従来、爪にネイルデザインを印刷する描画装置が知られている（例えば、特許文献 1 参照）。

このような装置を用いれば、ネイルサロン等を利用しなくても手軽にネイルデザインを楽しむことができる。

【先行技術文献】

【特許文献】

【 0 0 0 3 】

【特許文献 1】特表 2 0 0 3 - 5 3 4 0 8 3 号公報

【発明の概要】

【発明が解決しようとする課題】

【 0 0 0 4 】

描画装置としては、印刷ヘッドからインクを微小な液滴として噴射するインクジェット方式のものが知られているが、爪表面に直接ペン先を当接させて描画を行う筆記具（ペン）を備えるプロッタ方式の描画装置を採用することも検討されている。

プロッタ方式の描画装置を描画装置として採用した場合には、粒径の大きな顔料（色材）やラメ等を含むインクや粘度の高いインク等、インクジェット方式の場合には用いることが難しかった各種のインクを用いることができ、ネイルサロン等で施されるネイルアートにより近い仕上がりのネイルプリントを実現することができる。

10

【 0 0 0 5 】

しかしながら、このネイルプリント用の描画装置の印刷対象である爪は、幅方向の中央部分では高さが高く比較的平らだが、幅方向の両端部に行くほど高さが低く傾斜が大きくなる曲面形状となっている。

このため、傾斜の大きい爪の幅方向の両端部では、ペン先の横部分が爪に当たり、ペン先がフェルト様のものでは描画線が太くなってしまう。また、ペン先がボールペンタイプのもものではペン先のボール部分を爪の表面に十分当接させることができず、線がかすれたり、途切れたりして描画できない等の場合がある。このため、デザイナーは、爪の幅方向の中央部分と、幅方向の両端部分との違いを意識してデザインを作成しなければならず、煩雑なものになっていた。

20

【 0 0 0 6 】

本発明の課題は、爪の幅方向の中央部分と、幅方向の両端部分との違いを意識させずにデザイン作成の容易化を図ることである。

【課題を解決するための手段】

【 0 0 0 7 】

本発明の一の態様によれば、

デザイン画像を描画対象の幅方向に沿って湾曲した描画領域にフィッティングして、前記デザイン画像の描画用のデータを生成する描画データ生成部と、

30

前記描画用のデータに基づいて、前記描画領域に描画を施す描画部と、  
を備え、

前記デザイン画像は少なくとも 1 つのデザイン要素を有し、

前記描画データ生成部は、前記フィッティングにより、前記描画領域の前記幅方向の両端から前記描画領域の内側に向かって前記幅方向に沿って予め設定された長さを有する領域に設定される、前記描画領域の一部である二つの縁部領域の少なくとも一方に、前記デザイン要素の少なくとも一部が配置される場合に、前記デザイン要素における前記二つの縁部領域の少なくとも一方に配置される部分を除去して、前記描画用のデータを生成することを特徴とする描画装置が提供される。

40

【 0 0 0 8 】

また、本発明の他の態様によれば、

描画装置の描画制御方法であって、

前記描画装置は、描画を施す描画部と、制御装置と、を備え、

前記描画制御方法は、

前記制御装置により、デザイン画像を描画対象の幅方向に沿って湾曲した描画領域にフィッティングして、前記デザイン画像の描画用のデータを生成する描画データ生成ステップと、

前記制御装置により、生成された前記描画用のデータに基づいて、前記描画領域に描画を施すように前記描画部を制御する描画ステップと、  
を含み、

50

前記デザイン画像は少なくとも１つのデザイン要素を有し、

前記描画データ生成ステップは、前記フィッティングにより、前記デザイン要素の少なくとも一部が、前記描画領域の前記幅方向の両端から前記描画領域の内側に向かって前記幅方向に沿って予め設定された長さを有する領域に設定される、前記描画領域の一部である二つの縁部領域の少なくとも一方に、前記デザイン要素の少なくとも一部が配置される場合に、前記デザイン要素における前記二つの縁部領域の少なくとも一方に配置される部分を除去して、描画用のデータを生成することを特徴とする描画装置の描画制御方法が提供される。

【発明の効果】

【０００９】

10

本発明によれば、爪の幅方向の中央部分と、幅方向の両端部分との違いを意識せずにデザイン作成を容易にすることができる。

【図面の簡単な説明】

【００１０】

【図１】本実施形態に係る描画装置の正面図である。

【図２】図１に示す描画装置の一部を断面にして内部構造を示した側面図である。

【図３】図１に示されたIII-III線に沿った断面を矢印方向に見て示した断面図である。

【図４】本実施形態に係る制御構成を示す要部ブロック図である。

【図５】本実施形態に係る描画制御方法の流れを示すフローチャートである。

【図６】本実施形態に係るデザイン画像の一例を示す説明図である。

20

【図７】本実施形態に係る爪の背景領域と、デザイン領域とを模式的に示す説明図である。

【図８】本実施形態に係る各領域に各デザインをフィッティングする際のイメージを示す説明図である。

【図９】描画後の爪の状態を示す模式図である。

【発明を実施するための形態】

【００１１】

以下、添付図面を参照して、本発明に係る描画装置の実施形態の一例を詳細に説明する。ただし、発明の範囲は、図示例に限定されない。

また、以下の実施形態では、描画装置は手の指の爪を描画対象として、これに描画するものとして説明するが、本発明の描画対象は手の指の爪に限るものではなく、例えば足の指の爪を描画対象としてもよい。

30

【００１２】

図１は、描画装置の正面図であり、図２は図１に示す描画装置の一部を断面にして内部構造を示した側面図である。

図１及び図２に示すように、この描画装置１は、プロッタ方式のネイルプリント装置であり、ケース本体２と、このケース本体２に収容される装置本体１０と、を備えている。なお、図１及び図２において、ケース本体を二点鎖線で示している。

【００１３】

ケース本体２の前面上部一端には、後述する描画部４０のペン等の筆記具４１を交換するために開閉可能に構成された筆記具交換用蓋部２３が設けられている。筆記具交換用蓋部２３は、例えばヒンジ等を介して、図２に示すように閉状態から開状態まで回動自在となっている。

40

さらに、ケース本体２の一側面（本実施形態では、図１において左側面）であって後述する筆記具慣書部６１に対応する位置には、筆記具慣書部６１に載置される被描画媒体（図示せず）を入れ替え可能な媒体挿出口２４が形成されている。

【００１４】

ケース本体２の上面（天板）には操作部２５（図４参照）が設置されている。

操作部２５は、ユーザが各種入力を行う入力部である。

操作部２５には、例えば、描画装置１の電源をＯＮする電源スイッチ釦、動作を停止さ

50

せる停止スイッチ釦、爪 T に描画するデザイン画像を選択するデザイン選択釦、描画開始を指示する描画開始釦等、各種の入力を行うための図示しない操作釦が配置されている。

【 0 0 1 5 】

また、ケース本体 2 の上面（天板）のほぼ中央部には表示部 2 6 が設置されている。

表示部 2 6 は、例えば液晶ディスプレイ（LCD：Liquid Crystal Display）、有機エレクトロルミネッセンスディスプレイその他のフラットディスプレイ等で構成されている。

本実施形態において、この表示部 2 6 には、例えば、印刷指 U 1 を撮影して得た爪画像（爪 T の画像を含む指画像）、この爪画像中に含まれる爪 T の輪郭線等の画像、爪 T に描画すべきデザイン画像を選択するためのデザイン選択画面、デザイン確認用のサムネイル画像、各種の指示を表示させる指示画面等が適宜表示される。

10

なお、表示部 2 6 の表面にタッチパネルが一体的に構成されていてもよい。この場合には、例えば、指先等でタッチパネル表面にタッチすることにより各種選択や指示を行うことができる。指以外でも例えばスタイラスペンや、先の尖った棒状の筆記具等によって表示部 2 6 の表面をタッチするタッチ操作によっても各種の入力を行うことができるように構成される。

【 0 0 1 6 】

装置本体 1 0 は、ほぼ箱状に形成され、ケース本体 2 の内部下方に設置された下部機枠 1 1 と、この下部機枠 1 1 の上方で且つケース本体 2 の内部上方に設置されている上部機枠 1 2 と、を備えている。

20

【 0 0 1 7 】

まず、下部機枠 1 1 について説明する。

下部機枠 1 1 は、背面板 1 1 1、底板 1 1 2、左右一对の側板 1 1 3 a、1 1 3 b、X 方向移動ステージ収容部 1 1 4、Y 方向移動ステージ収容部 1 1 5 及び隔壁 1 1 6 を有する。

側板 1 1 3 a、1 1 3 b の下端部は、底板 1 1 2 の左右両端部にそれぞれ連結され、側板 1 1 3 a、1 1 3 b が底板 1 1 2 に対して立てられた状態に設けられている。

図 2 に示すように、背面板 1 1 1 の下部は、前方（指挿入方向手前側）に向かって 2 段に窪むように形成されている。背面板 1 1 1 の下端部は底板 1 1 2 の前端部に連結されており、背面板 1 1 1 は、底板 1 1 2 と側板 1 1 3 a、1 1 3 b によって囲われた領域を前後に区切っている。

30

この窪んだ背面板 1 1 1 の後ろ側に形成される空間が X 方向移動ステージ収容部 1 1 4、Y 方向移動ステージ収容部 1 1 5（図 2 参照）となっている。X 方向移動ステージ収容部 1 1 4 内には、描画部 4 0（図 6 参照）が前方（指挿入方向手前側）に移動した際に描画部 4 0 の X 方向移動ステージ 4 5 が収容される。また、Y 方向移動ステージ収容部 1 1 5 内には、描画部 4 0 の Y 方向移動ステージ 4 7 が配置されている。

また、隔壁 1 1 6 は、下部機枠 1 1 の内部前方側の空間（背面板 1 1 1、底板 1 1 2 及び側板 1 1 3 a、1 1 3 b によって囲われた指挿入方向手前側の空間）を上下に区切るように下部機枠 1 1 の内側に設けられている。隔壁 1 1 6 はほぼ水平に設けられ、隔壁 1 1 6 の左右両端部が側板 1 1 3 a、1 1 3 b にそれぞれ連結され、隔壁 1 1 6 の後端部が背面板 1 1 1 に連結されている。

40

【 0 0 1 8 】

この下部機枠 1 1 には、指固定部 3 0 が一体的に設けられている。

図 3 を参照して、指固定部 3 0 について説明する。

図 3 は図 1 に示された III - III 線に沿った断面を矢印方向に見て示した断面図である。

【 0 0 1 9 】

指固定部 3 0 は、描画対象である、描画を施す爪 T に対応する指（以下、これを「印刷指 U 1」という。）を受け入れる指受入部 3 1 と、描画対象でない、この印刷指 U 1 以外の指（以下、これを「非印刷指 U 2」という。）を退避させる指退避部 3 2 と、から構成されている。

50

指受入部 3 1 は、隔壁 1 1 6 の上側であって下部機枠 1 1 の幅方向のほぼ中央部に配置されている。また、隔壁 1 1 6 によって下部機枠 1 1 の下側に区分けられた空間が指退避部 3 2 を構成している。

例えば、薬指の爪 T に描画を施す場合には、図 3 に示すように、指受入部 3 1 に印刷指 U 1 としての薬指を挿入し、非印刷指 U 2 であるその他の 4 指（親指、人差し指、中指、小指）を指退避部 3 2 に挿入する。

指受入部 3 1 は、下部機枠 1 1 の前面側（印刷指挿入方向の手前側）に開口しており、下側が隔壁 1 1 6 の一部を構成する指載置部 1 1 6 a、両側が仕切り 3 1 a、奥側が仕切り 3 1 c によって区画されている。指載置部 1 1 6 a は、描画を施す爪 T の指（印刷指 U 1）を X Y 平面上に載置するものである。

10

また、指受入部 3 1 の上側は天井部 3 1 d によって区画されている。天井部 3 1 d には、指受入部 3 1 に挿入された印刷指 U 1 の爪 T を露出させるための窓 3 1 e が形成されている。

#### 【 0 0 2 0 】

また、隔壁 1 1 6 の上面であって下部機枠 1 1 の前面側の両側部には、下部機枠 1 1 の前面側を塞ぐ前壁 3 1 f（図 1 参照）が立設されている。また、隔壁 1 1 6 の上面には、この前壁 3 1 f の中央部寄りの端部から前記指受入部 3 1 に向けて狭窄し、印刷指 U 1 を指受入部 3 1 内に案内する一対のガイド壁 3 1 g が立設されている。

ユーザは指受入部 3 1 に挿入した印刷指 U 1 と指退避部 3 2 に挿入した非印刷指 U 2 との間に隔壁 1 1 6 を挟むことができる。そのため、指受入部 3 1 内に挿入された印刷指 U 1 が安定して固定される。

20

なお、本実施形態では、隔壁 1 1 6 の前端部に下方向に張り出した突出部 1 1 6 b が形成されている。突出部 1 1 6 b は、手前側に向かうにつれてその厚さが漸減し、奥側に向かうにつれて漸増するテーパ部となってもよいし、突出部 1 1 6 b の厚さが、隔壁 1 1 6 の奥側の窪みに対して全体が厚い構造になってもよい。隔壁 1 1 6 の前端部に突出部 1 1 6 b が形成されていることにより、非印刷指 U 2 が指退避部 3 2 に挿入された際、描画済みの指の爪 T と隔壁 1 1 6 との間に空間が確保され、爪 T が隔壁 1 1 6 の下面に接触して装置側にインクが付着したり、爪 T に描画された絵柄が擦れて損なわれたりするのを防止することができる。

#### 【 0 0 2 1 】

30

隔壁 1 1 6 の上面であって、指受入部 3 1 の横（ケース本体 2 の媒体挿出口 2 4 に対応する位置であり、本実施形態では、図 1 において左側）には、後述する印刷ヘッド 4 2 による描画可能範囲内に、後述する筆記具 4 1 の慣らし書きをするための筆記具慣書部 6 1 が設けられている。なお、筆記具慣書部 6 1 は、印刷指 U 1 が指受入部 3 1 に挿入された際の爪 T の高さとはほぼ同じとなる高さに設けられていることが好ましい。

筆記具慣書部 6 1 は、平板状の部分であり、前述のケース本体 2 の媒体挿出口 2 4 から挿入された図示しない被描画媒体が載置されるようになっている。

筆記具慣書部 6 1 に載置される被描画媒体は、ペン先 4 1 2 を慣らすことができるものであればよく、例えば紙片である。

筆記具慣書部 6 1 は、ペン先 4 1 2 が乾いていたりインクの乗りが悪い等により書き始めがかすれたりするのを防止するために、爪 T に画像データによる描画を開始する前に被描画媒体の上に筆記具 4 1 を下ろして「 」や「 」等の所定の図形を描画して慣らし書きを行い、ペン先 4 1 2 の状態を良好にするためのものである。慣らし書きを行う際に描画する所定の図形は特に限定されないが、インクを無駄に使いすぎないように、「 」や「 」等の単純な図形であることが好ましい。「 」や「 」等の慣らし書きは、筆記具慣書部 6 1 の範囲内で、慣らし書きを行う度に少しずつずらしながら書くようにすることが好ましい。なお、被描画媒体のほぼ全面に書いてしまったときには、表示部 2 6 に「紙を交換して下さい」等の被描画媒体の交換を促す表示画面を表示させるようにする。この場合、ユーザが媒体挿出口 2 4 から被描画媒体を取り出して新しいものと交換することにより新しい被描画媒体に慣らし書きができる状態となる。もし、被描画媒体がロール紙であ

40

50

る場合は、描画スペースが無くなったときには、ロール紙から被描画媒体を繰り出し、新しい描画面に慣らし書きを行えるようにする。

【 0 0 2 2 】

また、本実施形態ではゴム製の筆記具キャップ 6 2 が筆記具慣書部 6 1 の前方（指挿入方向の手前側）に設置されている。筆記具キャップ 6 2 は、描画部 4 0 に装着される筆記具 4 1 に対応する数（本実施形態では 4 つ）だけ設けられており、描画部 4 0 に筆記具 4 1 を装着後であって描画を行っていないとき（非描画時）には、筆記具 4 1 は筆記具キャップ 6 2 に収容される。筆記具キャップ 6 2 等が配置されている領域は、非描画時に、筆記具 4 1 が待機しているホームスペースとなっている。

すなわち、非描画時には、筆記具 4 1 を筆記具キャップ 6 2 の真上に筆記具 4 1 を移動させ後、後述するソレノイド 4 4 0 によって筆記具 4 1 を下降させ、ペン先 4 1 2 を筆記具キャップ 6 2 内に収容する。このようにすることにより、非描画時におけるペン先 4 1 2 の乾燥を防止できるようになっている。なお、筆記具キャップ 6 2 の形状等は図示例に限定されず、例えば、描画部 4 0 に装着される全ての筆記具 4 1 のペン先 4 1 2 を受け入れることのできる長尺な溝状の筆記具キャップ等であってもよい。

なお、本実施形態では、このように、筆記具キャップ 6 2 が筆記具慣書部 6 1 の傍に設けられているので、描画を開始するときには、筆記具 4 1 を上昇させてすぐ傍の筆記具慣書部 6 1 で慣らし書きを行い、描画を開始することができる。このため、筆記具 4 1 の移動等にかかる時間を最小限に抑えることができ、迅速な描画動作を行うことができる。

【 0 0 2 3 】

描画部 4 0 は、複数種類のインクを用いて、選択されたデザイン画像の画像データに基づき爪に描画を施すものであり、筆記具 4 1 を備える印刷ヘッド 4 2、印刷ヘッド 4 2 を支持するユニット支持部材 4 4、印刷ヘッド 4 2 を X 方向（図 1 における X 方向、描画装置 1 の左右方向）に移動させるための X 方向移動ステージ 4 5、X 方向移動モータ 4 6、印刷ヘッド 4 2 を Y 方向（図 2 における Y 方向、描画装置 1 の前後方向）に移動させるための Y 方向移動ステージ 4 7、Y 方向移動モータ 4 8 等を備えて構成されている。

【 0 0 2 4 】

本実施形態において、印刷ヘッド 4 2 は、それぞれ 1 本ずつ筆記具 4 1 を保持する筆記具キャリッジ 4 3 を 4 つ備えている。

【 0 0 2 5 】

描画用具である筆記具 4 1 は、爪 T の表面にインクを塗布して描画を施すものである。

各筆記具キャリッジ 4 3 に保持される筆記具（描画用具）4 1 は、ペン軸部 4 1 1 の先端側にペン先 4 1 2 が設けられたものである。ペン軸部 4 1 1 の内部は、各種インクを収容するインク収容部となっている。ペン軸部 4 1 1 の内部に収容されるインクは、粘度や色材の粒径（粒子の大きさ）等は特に限定されず、例えば、金銀のラメ入りのインクや白色のインク、UV 硬化型のインクやジェルネイル、アンダーコート用、トップコート用やマニキュア等も用いることができる。

【 0 0 2 6 】

筆記具 4 1 は、例えばペン先 4 1 2 を爪 T の表面に押し当てることでペン軸部 4 1 1 内に収容されているインクが染み出して描画する、ペン先 4 1 2 がボールペンタイプとなったペンである。なお、筆記具 4 1 は、ボールペンタイプのものに限定されず、例えばフェルト状のペン先にインクを染み込ませて描画するサインペンタイプや、束ねた毛にインクを染み込ませて描画する筆ペンタイプのもの等であってもよい。また、ペン先 4 1 2 の太さも各種のものを用意することができる。

各筆記具キャリッジ 4 3 に保持される筆記具 4 1 は、同じタイプのペン先 4 1 2 を有するペンでもよいし、異なるタイプのペン先 4 1 2 を有する筆記具であってもよい。

【 0 0 2 7 】

なお、本実施形態では、筆記具 4 1 を保持する筆記具キャリッジ 4 3 が装置の幅方向（左右方向、図 1 における X 方向）に 4 つ並んでいるため、ペン先 4 1 2 の位置が X 方向（装置の左右方向）にずれているが、このずれは描画動作における 1 ステップの整数倍にな

10

20

30

40

50

っており、描画に使われる筆記具 4 1 に応じて当該ずれている分のステップ数だけ補正して描画を行うため、4 つの筆記具 4 1 は、同じ位置に描画を行うことができるようになっている。

#### 【 0 0 2 8 】

各筆記具キャリッジ 4 3 には、筆記具 4 1 をほぼ垂直に保持する、描画用具ホルダである筆記具ホルダ 4 3 1 が設けられている。筆記具ホルダ 4 3 1 は、筆記具 4 1 をほぼ垂直に保持した状態でばね 4 3 3 とソレノイド 4 4 0 との協働によって筆記具 4 1 を上下移動させるようになっている。具体的には、ソレノイド 4 4 0 が駆動されている状態ではばね 4 3 3 の付勢力に抗して筆記具 4 1 が降下して、描画対象である爪 T の表面や被描画媒体と接触可能な描画状態となる。また、ソレノイド 4 4 0 が開放された状態では、ばね 4 3 3 の付勢力によって筆記具 4 1 が上昇し、爪 T の表面や被描画媒体と接触しない非描画状態となる。

10

なお、本実施形態では、筆記具 4 1 を上下させるためのアクチュエータとしてソレノイド 4 4 0 を用いているが、筆記具 4 1 を上下させるためのアクチュエータは、ソレノイド 4 4 0 に限定されない。筆記具 4 1 は軽量であるため、ソレノイドの他、各種小型の駆動装置により筆記具 4 1 を上下させるためのアクチュエータを構成することができる。

#### 【 0 0 2 9 】

印刷ヘッド 4 2 を支持するユニット支持部材 4 4 は、X 方向移動ステージ 4 5 に取り付けられた X 方向移動部 4 5 1 に固定されている。X 方向移動部 4 5 1 は、X 方向移動モータ 4 6 の駆動により X 方向移動ステージ 4 5 上を図示しないガイドに沿って X 方向に移動するようになっている。これにより、印刷ヘッド 4 2 が X 方向（図 1 における X 方向、描画装置 1 の左右方向）に移動するようになっている。

20

また、X 方向移動ステージ 4 5 は、Y 方向移動ステージ 4 7 の Y 方向移動部 4 7 1 に固定されている。Y 方向移動部 4 7 1 は、Y 方向移動モータ 4 8 の駆動により Y 方向移動ステージ 4 7 上を図示しないガイドに沿って Y 方向に移動するようになっている。これにより、印刷ヘッド 4 2 が Y 方向（図 2 における Y 方向、描画装置 1 の前後方向）に移動するようになっている。

なお、本実施形態において、X 方向移動ステージ 4 5 及び Y 方向移動ステージ 4 7 は、X 方向移動モータ 4 6、Y 方向移動モータ 4 8 と、図示しないボールネジ及びガイドとを組み合わせることで構成されている。本実施形態の X 方向移動モータ 4 6 及び Y 方向移動モータ 4 8 としては、1 パルス送られるごとに所定量ずつ移動するステップモータが適用される。

30

本実施形態では、X 方向移動モータ 4 6 及び Y 方向移動モータ 4 8 等により、爪 T に描画を施す筆記具 4 1 を備える印刷ヘッド 4 2 を X 方向及び Y 方向に駆動するヘッド駆動部 4 9（図 4 参照）が構成されている。

#### 【 0 0 3 0 】

描画部 4 0 における筆記具 4 1 を上下移動させるためのソレノイド 4 4 0、X 方向移動モータ 4 6、Y 方向移動モータ 4 8 は、後述する制御装置 8 0 の描画制御部 8 1 5（図 4 参照）に接続され、該描画制御部 8 1 5 によって制御されるようになっている。

#### 【 0 0 3 1 】

40

図 1 及び図 2 に示すように、撮影部 5 0 は、上部機枠 1 2 に設けられている。

すなわち、上部機枠 1 2 には基板 1 3 が設置されており、この基板 1 3 の中央部下面には、撮像装置としてのカメラ 5 1 が 2 つ設置されている。カメラ 5 1 は、例えば 2 0 0 万画素程度以上の画素を有するものであることが好ましい。

カメラ 5 1 は、指受入部 3 1 内に挿入されている印刷指 U 1 の爪 T を撮影して、印刷指 U 1 の爪 T の画像である爪画像（爪 T の画像を含む指画像）を得るものである。

本実施形態では、2 つのカメラ 5 1 は、指受入部 3 1 に挿入されている印刷指 U 1 の爪 T の幅方向にほぼ並んで設けられている。2 つのカメラ 5 1 のうち、一方のカメラ 5 1 は、指受入部 3 1 の底面に対向して設けられており、爪 T を真上から撮影するものである。また、他方のカメラ 5 1 は、指受入部 3 1 の底面に対して僅かに傾けて配置されており、

50



爪Ｔを斜め上方向から撮影するものである。

また、基板１３には、カメラ５１を囲むように白色ＬＥＤ等の照明灯（照明装置）５２が設置されている。照明灯５２は、カメラ５１による撮影の際に、印刷指Ｕ１の爪Ｔを照明するものである。撮影部５０は、このカメラ５１及び照明灯５２を備えて構成されている。

この撮影部５０は、後述する制御装置８０の撮影制御部８１１（図４参照）に接続され、該撮影制御部８１１によって制御されるようになっている。

撮影部５０によって撮影された画像の画像データは、後述する記憶部８２の爪画像記憶領域８２１に記憶される。

#### 【００３２】

本実施形態では、撮像装置としての２つのカメラ５１によって少なくとも２つの異なった位置・角度から爪Ｔを撮影することができ、少なくとも２枚の爪画像が取得される。

そして、これらの爪画像に基づいて、後述する爪情報検出部８１２が、爪Ｔの輪郭（爪Ｔの形状）の他、爪Ｔの表面の、ＸＹ平面に対する傾斜角度（以下「爪Ｔの傾斜角度」又は「爪曲率」という。）や爪Ｔの垂直位置等の爪情報を検出できるようになっている。すなわち、例えば、爪Ｔの真上からの画像と、爪Ｔの斜め上方向からの画像と、を取り込むことにより、爪Ｔの輪郭だけでなく、位置、爪Ｔの表面の傾斜角度を正確に検出することができる。

なお、撮像装置として２つのカメラ５１を備え、爪Ｔの傾斜角度又は爪曲率を検出できるように構成することは必須の構成ではなく、カメラ５１を一つだけ備え、爪Ｔを上方向のみから撮影して爪Ｔの輪郭（爪Ｔの形状）を爪情報として検出するようにしてもよい。

#### 【００３３】

また、制御装置８０は、例えば上部機枠１２に配置された基板１３等に設置されている。

図４は、本実施形態における制御構成を示す要部ブロック図である。

制御装置８０は、図４に示すように、図示しないＣＰＵ（Central Processing Unit）により構成される制御部８１と、ＲＯＭ（Read Only Memory）及びＲＡＭ（Random Access Memory）等（いずれも図示せず）で構成される記憶部８２とを備えるコンピュータである。

#### 【００３４】

記憶部８２には、描画装置１を動作させるための各種プログラムや各種データ等が格納されている。

具体的には、記憶部８２のＲＯＭには、爪画像から爪Ｔの形状や位置、爪Ｔの曲率等の爪情報を検出するための爪情報検出プログラム、印刷データを生成するための印刷データ生成プログラム、印刷処理を行うための印刷プログラム等の各種プログラムが格納されており、これらのプログラムが制御装置８０によって実行されることによって、描画装置１の各部が統括制御されるようになっている。

また、本実施形態において記憶部８２には、撮影部５０によって取得されたユーザの印刷指Ｕ１の爪Ｔの爪画像を記憶する爪画像記憶領域８２１、爪情報検出部８１２によって検出された爪情報が記憶される爪情報記憶領域８２２、爪Ｔに印刷されるデザイン画像の画像データを記憶するデザイン記憶領域８２３、デザイン領域設定部８１６によって設定されたデザイン領域が記憶されるデザイン領域記憶領域８２４及び背景領域設定部８１７によって設定された背景領域が記憶される背景領域記憶領域８２５が設けられている。

なお、画像データには、デザイン要素Ｄ１と、このデザイン要素Ｄ１の背景となる背景デザインＤ２とが含まれている（図６参照）。

#### 【００３５】

制御部８１は、機能的に見た場合、撮影制御部８１１、爪情報検出部８１２、描画データ生成部８１３、表示制御部８１４、描画制御部８１５及びデザイン領域設定部８１６等を備えている。これら撮影制御部８１１、爪情報検出部８１２、描画データ生成部８１３、表示制御部８１４、描画制御部８１５、デザイン領域設定部８１６及び背景領域設定部

10

20

30

40

50

８１７等としての機能は、制御部８１のＣＰＵと記憶部８２のＲＯＭに記憶されたプログラムとの共働によって実現される。

【００３６】

撮影制御部８１１は、撮影部５０のカメラ５１及び照明灯５２を制御してカメラ５１により、指受入部３１に挿入された印刷指Ｕ１の爪Ｔの画像を撮影させるものである。

本実施形態において、撮影制御部８１１は、撮影部５０のカメラ５１及び照明灯５２を制御して、印刷指Ｕ１の爪Ｔについて撮影を行い、爪Ｔの画像を取得する。

【００３７】

爪情報検出部８１２は、カメラ５１によって撮影された印刷指Ｕ１の爪Ｔの画像に基づいて、印刷指Ｕ１の爪Ｔについての爪情報を検出するものである。

10

ここで、爪情報とは、爪Ｔの輪郭（爪形状と水平位置）、爪Ｔの高さ（爪Ｔの垂直方向の位置、以下「爪Ｔの垂直位置」又は単に「爪Ｔの位置」ともいう。）、爪Ｔの曲率（爪曲率）であり、爪情報検出部８１２は、これら爪Ｔの形状、爪Ｔの位置、爪Ｔの曲率を爪情報として検出する。ここで、爪Ｔの輪郭がなす領域の全体を爪領域（描画領域）とする。

【００３８】

具体的には、爪情報検出部８１２は、カメラ５１により取得された印刷指Ｕ１の爪Ｔの爪画像を含む指画像から、爪Ｔの輪郭（形状や大きさ）、位置を検出し、この輪郭を $x$ 、 $y$ 座標等で表される情報として取得する。爪情報検出部８１２は、例えば、カメラ５１により取得された印刷指Ｕ１の爪Ｔの爪画像を含む指画像から爪Ｔとそれ以外の指部分との色の違い等に基づいて爪Ｔの輪郭（形状）を検出するものである。なお、爪情報検出部８１２が爪Ｔの輪郭（形状）を検出する手法は特に限定されず、ここに挙げたものに限られない。

20

また、爪情報検出部８１２は、カメラ５１によって撮影された爪Ｔの画像に基づいて、爪Ｔについて爪高さを検出する。ここで、爪高さとは、爪Ｔの垂直方向の位置である。

さらに、爪情報検出部８１２は、カメラ５１によって撮影された爪Ｔの画像に基づいて、爪Ｔについて爪曲率を検出する。爪曲率とは、爪Ｔの幅方向における曲率である。

例えばカメラ５１によって２つの異なる角度から爪Ｔを撮影させることにより、爪情報検出部８１２は、爪画像に現われる陰影の変化等から爪Ｔについての爪高さや爪曲率を推定することができる。

30

そして、爪情報検出部８１２は、取得した爪曲率から爪の円弧レベルを複数段階に分類する。円弧レベルを例えば三段階に分類する場合には、曲率が最も小さい範囲のものをレベル１とし、曲率が最も大きい範囲のものをレベル３とし、曲率がこれらの中間の範囲のものをレベル２とする。

なお、爪情報検出部８１２が爪Ｔの爪高さや爪曲率を検出する手法は特に限定されず、ここに挙げたものに限られない。

【００３９】

描画データ生成部８１３は、爪情報検出部８１２により検出された爪情報に基づいて、印刷ヘッド４２により印刷指Ｕ１の爪Ｔに施される印刷用のデータを生成する。

具体的には、描画データ生成部８１３は、爪情報検出部８１２により検出された爪Ｔの形状等の爪情報に基づいてデザイン画像の画像データを縮小又は拡大する等による合せ込み処理（フィッティング処理）を行い、爪Ｔに、背景デザイン上に配置される、少なくとも１つのデザイン要素の印刷を施すための印刷用のデザイン要素データを生成する。

40

また、描画データ生成部８１３は、デザイン画像の画像データに基づいて背景データも生成する。この背景データとは、印刷用のデータに基づく画像（デザイン要素）の背景をなすものであり、画像データに含まれる、その領域全体に塗りつぶし領域が配置される背景デザインに基づいて生成される。

【００４０】

表示制御部８１４は、表示部２６を制御して表示部２６に各種の表示画面を表示させるものである。本実施形態では、表示制御部８１４は、例えばデザイン画像の選択画面やデ

50

ザイン確認用のサムネイル画像、印刷指U 1を撮影した指画像や指画像に含まれる爪画像、各種の指示画面等を表示部26に表示させるようになっている。

【0041】

描画制御部815は、描画データ生成部813によって生成されたデザイン要素データ及び背景データを描画部40に出力し、爪Tに対してこのデザイン要素データ及び背景データにしたがった印刷を施すように、描画部40のヘッド駆動部49であるX方向移動モータ46、Y方向移動モータ48、筆記具41を上下させるソレノイド440の動作を制御する。

【0042】

背景領域設定部817は、爪情報検出部812で検出された爪領域の全体を背景領域として設定する。

10

デザイン領域設定部816は、爪情報検出部812で検出された爪領域のうち、幅方向の両縁部側の一部の領域を除いた、残りの領域をデザイン領域として設定する。具体的には、爪領域の幅方向の両端から所定の長さだけ内側の部分を左右の縁部領域とし、その両方の縁部領域を爪領域から除いた領域をデザイン領域とする。ここで、除かれる縁部の、爪領域の幅方向の両端から爪領域の幅方向に沿って内側に向かう方向の幅は爪の形状等により最適な値が決定されるが、例えば100 $\mu$ m～200 $\mu$ mの範囲に収まる値であることが好ましい。

そして、デザイン領域設定部816は、その爪Tの曲率のレベルに応じて、除かれる縁部領域の幅を決定する。具体的な例としては、レベル1の爪Tに対しては縁部の幅を100 $\mu$ mとし、レベル2の爪Tに対しては縁部の幅を150 $\mu$ mとし、レベル3の爪Tに対しては縁部の幅を200 $\mu$ mとする。

20

【0043】

次に、本実施形態における描画装置1の動作及び描画制御方法について説明する。

図5は描画制御方法の流れを示すフローチャートである。

【0044】

この描画装置1により印刷を行う場合、ユーザはまず、電源スイッチを入れて制御装置80を起動させる。

次に、ユーザは、印刷指U 1を指受入部31に挿入し、非印刷指U 2を指退避部32に挿入して、印刷指U 1を固定した上で、印刷スイッチを操作する。

30

印刷スイッチから指示が入力されると、印刷動作を開始する前に、まず撮影制御部811が撮影部50を制御して、照明灯52により印刷指U 1を照明しながらカメラ51により印刷指U 1を撮影させる。これにより、撮影制御部811は、指受入部31に挿入された印刷指U 1の指画像を取得する(ステップS1)。

【0045】

次に、爪情報検出部812は、指画像に基づいて爪Tの輪郭(爪領域)、爪の位置(爪の垂直位置を含む)、爪曲率を検出(算出)し、爪情報を取得する(ステップS2)。

次に、表示制御部814は、表示部26にデザイン選択画面を表示させる。ユーザは操作部25を操作して、デザイン選択画面に表示された複数のデザイン画像の中から所望のデザイン画像を選択し、これにより、操作部25から選択指示信号が出力されて爪Tに印刷すべきデザイン画像が選択される(ステップS3)。

40

【0046】

図6はデザイン画像の一例を示す説明図であり、(a)はデザイン画像全体を示し、(b)は背景デザインを示し、(c)はデザイン要素を示している。

図6に示すように、デザイン画像Dは、例えば鳥を模した複数のキャラクターからなるデザイン要素D1と、そのデザイン要素D1の背景となり、その領域全体が塗りつぶし領域となっている、背景デザインD2とを含んでおり、これらが一体化された形で画像データとして生成されている。

【0047】

爪情報検出部812により爪情報が検出されると、これらの爪情報に基づいて、背景領

50

域設定部 8 1 7 が爪領域の全体を背景領域として設定する（ステップ S 4）。

また、その後、爪情報検出部 8 1 2 に検出された爪情報に基づいて、デザイン領域設定部 8 1 6 が、爪情報検出部 8 1 2 で検出された爪領域のうち、幅方向の両縁部を除いた領域をデザイン領域として設定する（ステップ S 5）。このとき、デザイン領域設定部 8 1 6 は、爪 T の曲率のレベルに応じて、除かれる縁部領域の幅を決定している。

【 0 0 4 8 】

図 7 は、爪 T の背景領域 R 1 と、デザイン領域 R 2 とを模式的に示す説明図である。

図 7 に示すように、背景領域 R 1 は図中点線で示されており、爪領域の全体に対応している。他方、デザイン領域 R 2 は図中実線で示されており、爪領域の全体から幅方向の両側の縁部領域が除かれている。符号 H は、除かれる縁部領域の幅を示している。

10

【 0 0 4 9 】

次いで、描画データ生成部 8 1 3 は、背景デザイン D 2 が背景領域 R 1 にフィッティングされるように画像データを処理し、背景デザイン D 2 の印刷用のデータ（背景データ）を生成する（ステップ S 6）。

次いで、描画データ生成部 8 1 3 は、デザイン要素 D 1 がデザイン領域 R 2 にフィッティングされるように画像データを処理し、デザイン要素 D 1 の印刷用のデータ（デザイン要素データ）を生成する（ステップ S 7）。

つまり、描画データ生成部 8 1 3 が本発明に係る画像データ処理部である。

【 0 0 5 0 】

図 8 は、各領域に各デザインをフィッティングする際のイメージを示す説明図であり、（ a ）は背景領域 R 1 に背景デザイン D 2 をフィッティングする際のイメージを示し、（ b ）はデザイン領域 R 2 にデザイン要素 D 1 をフィッティングする際のイメージを示している。

20

図 8（ a ）に示すように、画像データ中の背景デザイン D 2 に対して背景領域 R 1 を重ね、当該背景領域 R 1 からはみ出る部分を除去することで、背景デザイン D 2 が背景領域 R 1 にフィッティングされる。他方、図 8（ b ）に示すように、画像データ中のデザイン要素 D 1 に対してデザイン領域 R 2 を重ね、当該デザイン領域 R 2 からはみ出る部分を除去することで、デザイン要素 D 1 がデザイン領域 R 2 にフィッティングされる。

【 0 0 5 1 】

次いで、描画制御部 8 1 5 は、背景デザインデータを描画部 4 0 に出力し、爪 T に対してこの背景デザインデータにしたがった背景デザイン D 2 を描画する（ステップ S 8）。具体的には、描画制御部 8 1 5 は、ソレノイド 4 4 0 を駆動させて筆記具 4 1 を描画可能状態とするとともに、背景デザインデータに基づいてヘッド駆動部 4 9 を動作させ、筆記具 4 1 を X Y 方向に適宜移動させて爪 T に描画を行わせる。このとき、筆記具 4 1 は自重により爪 T の表面に押し当てられ、爪 T の表面形状に追従して上下動しながら描画を行う。

30

【 0 0 5 2 】

次いで、描画制御部 8 1 5 は、背景デザイン D 2 が乾燥する時間が経過するまで印刷動作を一時的に停止する（ステップ S 9）。なお、本実施形態では、単に時間を経過することで背景デザイン D 2 の乾燥を行っているが、例えばファンなどの乾燥手段を設け、その乾燥手段を駆動することによって背景デザイン D 2 の乾燥を行ってもよい。さらに、背景デザイン D 2 用のインクが紫外線硬化型のインクである場合には、乾燥手段として U V 光源を用いることも可能である。

40

【 0 0 5 3 】

次いで、描画制御部 8 1 5 は、デザイン要素データを描画部 4 0 に出力し、爪 T に対してこのデザイン要素データにしたがったデザイン要素 D 1 を描画する（ステップ S 10）。具体的には、描画制御部 8 1 5 は、ソレノイド 4 4 0 を駆動させて筆記具 4 1 を描画可能状態とするとともに、デザイン要素データに基づいてヘッド駆動部 4 9 を動作させ、筆記具 4 1 を X Y 方向に適宜移動させて爪 T に描画を行わせる。

【 0 0 5 4 】

50

図 9 は、描画後の爪 T の状態を示す模式図である。

図 9 に示すように、爪 T の全体（爪領域：背景領域 R 1 ）に対しては背景デザイン D 2 が描画されていて、爪 T の幅方向の両縁部が除かれた領域（デザイン領域 R 2 ）に対してはデザイン要素 D 1 が描画されている。

【 0 0 5 5 】

印刷が完了すると、描画制御部 8 1 5 は、印刷ヘッド 4 2 を印刷保守部 6 0 の上に移動させ、筆記具 4 1 に筆記具キャップ 6 2 を取り付けて乾燥を防止する。

【 0 0 5 6 】

以上のように、本実施形態によれば、爪領域の全体に背景デザイン D 2 が配置され、爪領域の幅方向の両側の縁部を除いてデザイン要素 D 1 が配置されるので、背景デザイン D 2 よりも細やかなデザイン要素 D 1 は爪領域の両縁部には描画されないこととなる。しかしながら、この縁部領域の幅は 1 0 0  $\mu$ m ~ 2 0 0  $\mu$ m 程度であって、非常に狭い領域であるので、爪領域の縁部領域にデザイン要素 D 1 がなくとも背景さえ塗られていれば見た目上それほど目立つことはない。つまり、このような配置で背景デザイン D 2 とデザイン要素 D 1 とが描画されていれば、爪の幅方向の中央部と、幅方向の両端部分との見た目の違いは抑制される。

したがって、爪の幅方向の中央部分と、幅方向の両端部分との違いを意識させずにデザイン作成を容易にすることができる。

【 0 0 5 7 】

また、指画像から検出された爪領域に基づいて、背景領域 R 1 とデザイン領域 R 2 とが設定されるので、実際の爪 T の形状に対応するように背景領域 R 1 及びデザイン領域 R 2 を設定することができる。

【 0 0 5 8 】

なお、本発明を適用可能な実施形態は、上述した実施形態に限定されることなく、本発明の趣旨を逸脱しない範囲で適宜変更可能である。

【 0 0 5 9 】

例えば、上記実施形態では、デザイン要素 D 1 と背景デザイン D 2 とが予め画像データに含まれている場合を例示して説明したが、デザイン要素だけからなる画像データに対しても本発明の構成を適用可能である。例えば、画像データに背景デザインが含まれていない場合には、描画データ生成部 8 1 3 は、デザイン要素に基づいて背景デザインを作成する。具体的には、デザイン要素の内容からそれに適した背景色を選択して、当該背景色からなる背景デザインデータを作成する。背景色の選択方法としては、デザイン要素 D 1 の幅方向の縁付近で最も割合多く用いられている色を背景色とする方法や、デザイン要素 D 1 で最も割合多く用いられている色を背景色とする方法、デザイン要素 D 1 で最も割合多く用いられている色を際立たせる色を背景色とする方法などが挙げられる。

なお、描画データ生成部 8 1 3 で背景デザインが作成される場合には、その背景デザインのみ、或いは背景デザインとデザイン要素とを一体化したものを表示部 2 6 に表示して、ユーザにその背景デザインを確認させたり、他の色を選択可能としたりすることが好ましい。

【 0 0 6 0 】

また、本実施形態では描画装置 1 としてプロッタ方式のネイルプリント装置を例示して説明したが、インクジェット方式のネイルプリント装置や、これらのハイブリット式のネイルプリント装置であっても本発明の構成を用いることは可能である。

【 0 0 6 1 】

以上、本発明のいくつかの実施形態を説明したが、本発明の範囲は、上述の実施の形態に限定するものではなく、特許請求の範囲に記載された発明の範囲をその均等の範囲を含む。

以下に、この出願の願書に最初に添付した特許請求の範囲に記載した発明を付記する。付記に記載した請求項の項番は、この出願の願書に最初に添付した特許請求の範囲の通りである。

## 【 0 0 6 2 】

## 〔 付 記 〕

## &lt; 請 求 項 1 &gt;

デザイン画像の画像データの、幅方向に沿って湾曲した描画対象の描画領域へのフィッティングを処理する画像データ処理部と、

前記画像データ処理部による前記画像データの前記描画領域へのフィッティングに基づいて、前記描画領域に画像の描画を施す描画部と、

を備え、

前記画像データ処理部は、

前記画像データに基づいて、前記描画領域全体に塗り潰し領域が配置された背景デザインを形成する背景デザインデータと、前記背景デザイン上に配置される少なくとも1つのデザイン要素を形成するデザイン要素データと、を生成し、

前記背景デザインデータによる前記背景デザインを前記描画領域の全体にフィッティングし、前記デザイン要素データによる前記デザイン要素を、前記描画領域から、該描画領域の幅方向の両側に設定される縁部領域を除いた領域にフィッティングすることを特徴とする描画装置。

## &lt; 請 求 項 2 &gt;

請求項1記載の描画装置において、

前記描画領域を撮影する撮影部と、

前記撮影部によって取得された画像から、前記描画領域の幅方向の湾曲の程度を検出する情報検出部と、

前記情報検出部により検出された前記描画領域の幅方向の湾曲の程度に基づいて、前記縁部領域の、該描画領域の幅方向の両端から前記描画領域の幅方向に沿って内側に向かう方向の幅を設定する領域設定部と、

を備えることを特徴とする描画装置。

## &lt; 請 求 項 3 &gt;

請求項1又は2記載の描画装置において、

前記画像データ処理部は、前記デザイン要素データに基づいて前記背景デザインデータを作成することを特徴とする描画装置。

## &lt; 請 求 項 4 &gt;

請求項1～3のいずれか一項に記載の描画装置において、

前記描画部は、前記描画対象に接触して前記描画領域に前記描画を施す描画用具を有することを特徴とする描画装置。

## &lt; 請 求 項 5 &gt;

請求項1～4のいずれか一項に記載の描画装置において、

前記描画部は、インクジェット方式により前記描画領域に前記描画を施す印刷ヘッドを有することを特徴とする描画装置。

## &lt; 請 求 項 6 &gt;

デザイン画像に基づいて、描画対象の幅方向に湾曲した描画領域に画像を描画する描画装置の描画制御方法であって、

前記デザイン画像の画像データの、前記描画領域へのフィッティングを処理する画像データ処理ステップと、

前記画像データ処理ステップによる前記画像データの前記描画領域へのフィッティングに基づいて、前記描画領域に画像の描画を施す描画ステップと、を含み、

前記画像データ処理ステップは、

前記画像データに基づいて、前記描画領域全体に塗り潰し領域が配置された背景デザインを形成する背景デザインデータと、前記背景デザイン上に配置される少なくとも1つのデザイン要素を形成するデザイン要素データと、を生成するデータ生成ステップと、

前記背景デザインデータによる前記背景デザインを前記描画領域の全体にフィッティン

10

20

30

40

50

グし、前記要素デザインデータによる前記デザイン要素を、前記描画領域から、該描画領域の幅方向の両側に設定される縁部領域を除いた領域にフィッティングするフィッティングステップと、

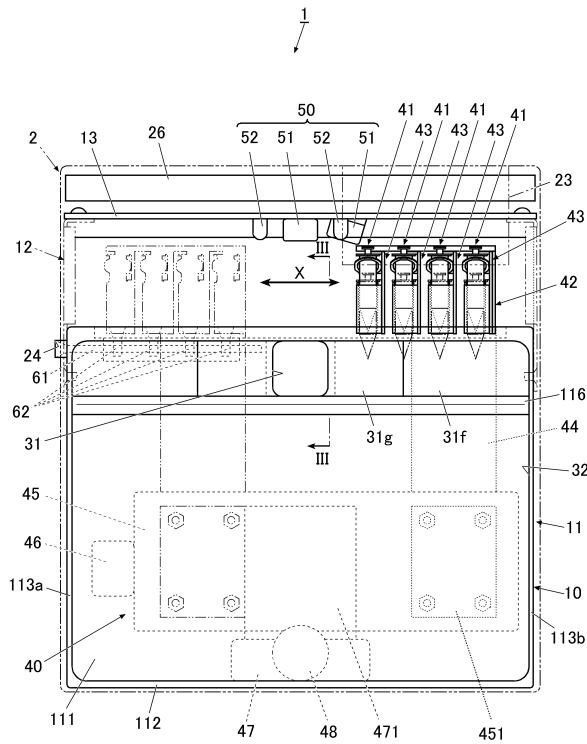
を含むことを特徴とする描画装置の描画制御方法。

【符号の説明】

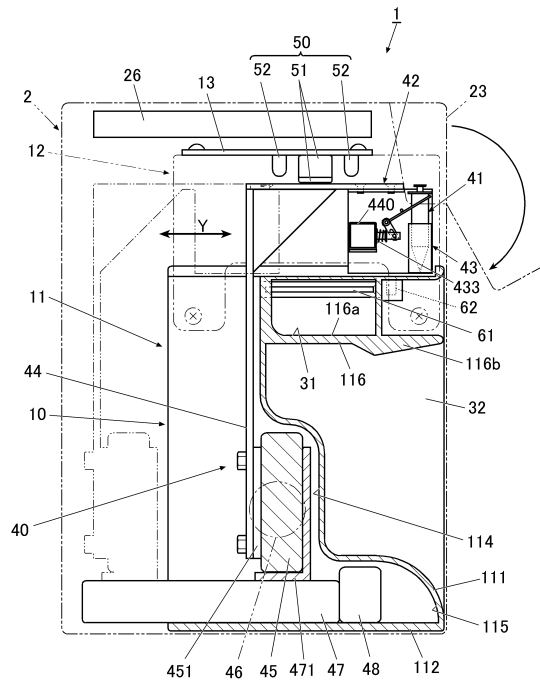
【 0 0 6 3 】

1	描画装置	
2	ケース本体	
1 0	装置本体	
4 0	描画部	10
4 1	筆記具	
4 2	印刷ヘッド	
4 3	筆記具キャリッジ	
4 9	ヘッド駆動部	
5 0	撮影部	
8 0	制御装置	
8 1	制御部	
8 2	記憶部	
8 1 1	撮影制御部	
8 1 2	爪情報検出部	20
8 1 3	描画データ生成部（画像データ処理部）	
8 1 4	表示制御部	
8 1 5	描画制御部	
8 1 6	デザイン領域設定部	
8 1 7	背景領域設定部	
D	デザイン画像	
D 1	デザイン要素	
D 2	背景デザイン	
R 1	背景領域	
R 2	デザイン領域	30
T	爪	

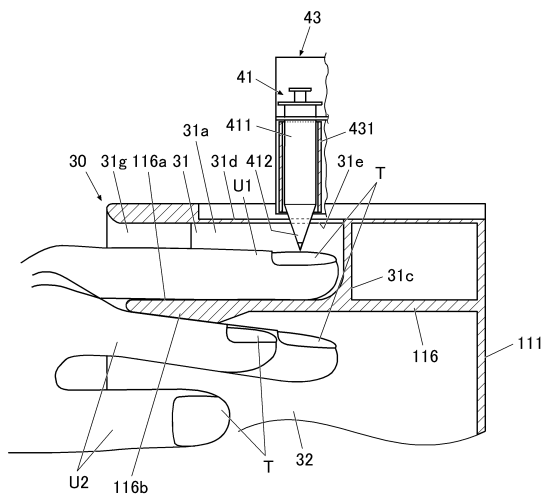
【図 1】



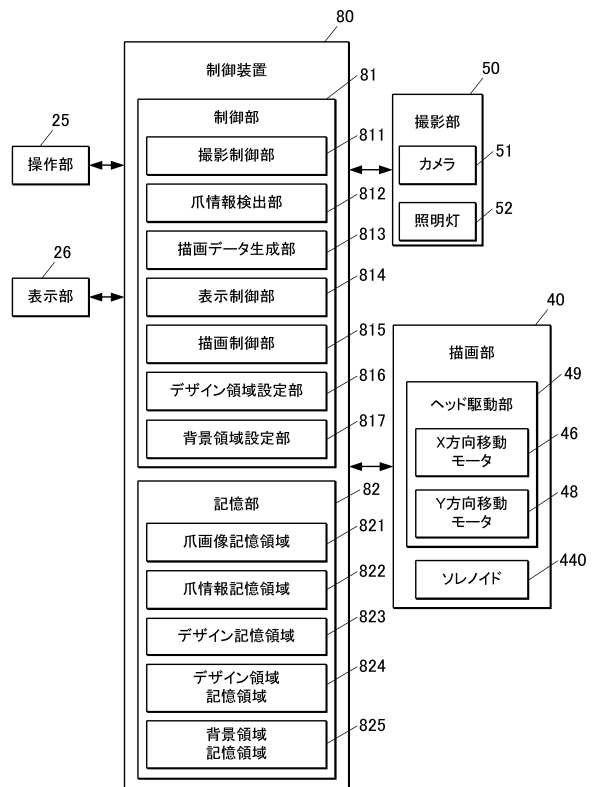
【図 2】



【図 3】

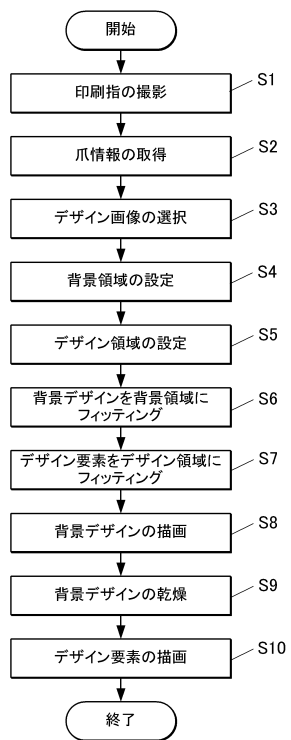


【図 4】

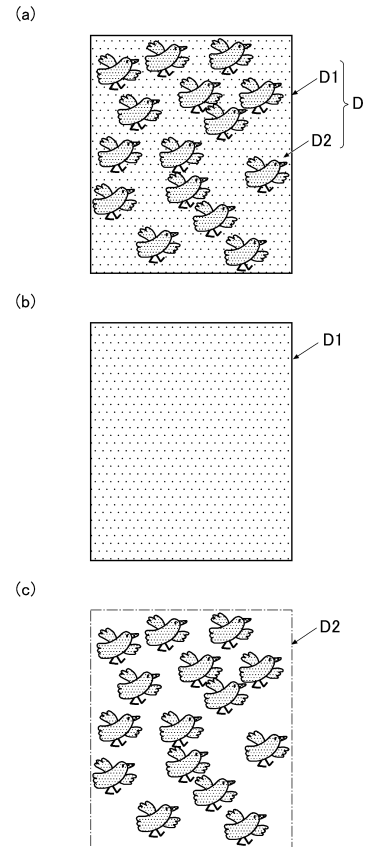




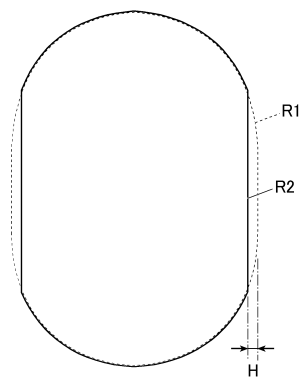
【図 5】



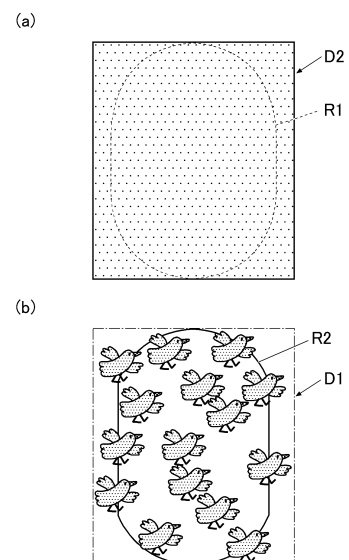
【図 6】



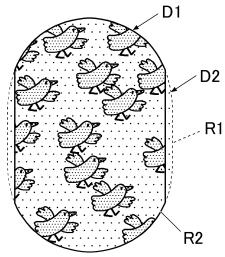
【図 7】



【図 8】



【図 9】



---

フロントページの続き

(58)調査した分野(Int.Cl. , D B 名)

A 4 5 D      2 9 / 0 0 - 2 9 / 1 8